

# 要 望 書

令和4年11月11日

一般社団法人 苫小牧建設協会

## 要 望 趣 意 書

日頃より、地元建設業界に対しまして、格別のご理解とご支援並びにご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

これまで私ども建設企業は、地域の守り手として、地域の雇用を確保し、経済の下支えとしての役割を果たすとともに、地震や風水害等の災害発生時における迅速な対応や、さまざまな地域貢献への取り組み等、社会基盤の形成維持に微力ながらも尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、感染防止対策を工夫しながらの現場運営を余儀なくされ、就業者の減少や工事の中断・延期など、厳しい状況が続いております。

さらには、気象変動に伴う線状降水帯などにより発生する集中豪雨が甚大な被害を及ぼしており、防災・減災対策推進が強く求められています。

また、本市は、日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震に備え、「地震防災対策推進地域」に指定され、中でも大きな被害が見込まれる「特別強化地域」に含まれており、市民の命と暮らしを守るため、早期に防災・減災への取り組みについて、各種インフラを対象に検討していく必要があると考えております。

ロシアのウクライナ侵攻の影響により、資材不足や原油価格の上昇による資材等の価格高騰が続く厳しい環境にあり、実勢価格の把握や長期的安定的な予算の確保、工事発注時期の平準化、働き方改革推進に向けた取り組みなどが強く求められております。

地域の基幹産業として活力を持続することで、社会資本が適正に維持・活用され、地域の安全・安心が確保されるものと確信しております。

従いまして、一般社団法人苫小牧建設協会会員の総意として、次のとおり要望いたしますので、特段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和4年11月11日

一般社団法人 苫小牧建設協会  
会長 宮崎 英樹

## 市 要 望 事 項

- 1 IR構想の強力で継続的な推進
  - 1 災害に強いまちづくりの構築
    - イ) 津波浸水予測に基づく津波対策の強化（西部地区に津波避難施設を増設）
    - ロ) 構築年数が経過した構造物への耐震対策の強化
    - ハ) 急傾斜地等の土砂災害対策の早期構築
  - 二) 緊急車両の動線や市民避難路確保及び周知の継続（市道舗装道路平坦性の改善拡大）
    - 1 苫小牧東部地域への企業誘致及び地元企業の活用
    - 1 都市環境の整備促進
      - イ) 市道 東部南通線（臨港道路 東港南通）の勇払橋早期架替及び道路拡幅
      - ロ) 美沢錦岡通の道路整備促進（道道昇格への早期実現）
      - ハ) 都市浸水対策及び下水道施設の老朽化対策の継続（集中豪雨等による冠水対策）
    - 二) 植苗・美沢土地利用計画の整備促進
  - ホ) JR線新千歳空港駅から苫小牧方面への増便などアクセス向上
  - ヘ) 駅周辺ビジョンと居住促進を含めた都市再生コンセプトプランの早期実現
  - ト) 苫小牧登別通（仮称）の道路整備の早期実現
- 1 令和5年度公共事業の予算枠拡大並びに発注時期の平準化
  - 1 発注工事に関する改善
    - イ) 土木・建築工事におけるあらゆる発注工事の地元企業の活用
    - ロ) 働き方改革推進に向け週休2日制などに対応した工期の設定
    - ハ) 労務単価、建設資機材の実勢価格の把握と反映（見積活用方式・単品スライド等の活用）
  - 二) 受注後の資材調達期間及びその他施工不可能期間等の経費反映
  - ホ) 工事発注前の三者協議の実施（苫小牧市・設計コンサルタント・苫小牧建協）
  - ヘ) 工事の評価内容の明示